

10代の虐待問題

～制度のはざまに漂う子どもたちの今～

今晚泊まるところがないという、十代後半の子どもたちからの相談を受けたときに、私たち弁護士には、紹介できる場所がないという、相談現場のニーズから生まれた、カリヨン子どもセンター。開設から18年で、延べ500人近い子どもたちが避難してきました。その開設に至る経緯、子どもの権利回復と保障の理念、活動方針、具体的なケース、全国展開の過程、現在の課題などについて、ご紹介したいと思います。(講師談)



社会福祉法人カリヨン子どもセンター理事・弁護士

坪井 節子 氏

略歴

1978年3月、早稲田大学第一文学部哲学科卒業。
1980年4月、東京弁護士会にて弁護士登録。
1984年4月、坪井法律事務所開設。
1987年11月から、東京弁護士会子どもの人権救済センター相談員。東京弁護士会子どもの人権と少年法に関する委員会委員など。
2004年6月から、NPO法人カリヨン子どもセンター、
2008年3月から、社会福祉法人カリヨン子どもセンター理事長。
2020年6月退任。現在、理事。

2022年 **7月8日(金)** 19時～21時

WEB・会場のハイブリッド開催

<WEB> Zoomウェビナー

<会場> 熊本城ホール3F・会議室C

(熊本市中央区桜町3-40)

※定員40名(先着順)

<対象> 会員医師・歯科医師、
医療関係者、児童福祉関係者、
教育関係者、弁護士 等

事前申込・参加費無料

お申込みはこちら



7月6日(水)
17時まで

<http://bit.ly/3JbvAEJ>

QRコードをスマホ等で読み取って
必要事項を入力のうえお申込み
ください。

主催：一般社団法人熊本県保険医協会

TEL : 096-385-3330 Email : kumamoto-hok@doc-net.or.jp



LINE公式アカウント
友だち募集中!